

創薬科学専攻（修士課程）の3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）について

1. 学位授与の方針【ディプロマ・ポリシー】

創薬科学専攻（修士課程）において学んだ学生は、修了（学位の授与）に際して、以下の目標に到達することが期待される。

| 1 | 知識・理解

化学系薬学、物理系薬学、生物系薬学及び医療系薬学を基盤とした幅広い知識を理解し、論理的に思考できる。

創薬プロセスの中での自らの研究の位置づけることができ、総合学問としての創薬科学を理解している。

薬学あるいは創薬と関連する周辺分野との連携を理解するとともに実行できる。

| 2 | 専門的な技能

科学的な思考力に基づいて研究を遂行するのみならず問題を解決する基礎的な能力を持っている。

先端的な研究を遂行する上で必要な実験技術を系統的に修得している。

薬学研究に必要な高度な専門的な理論や方法論を理解、統合および応用できる能力を持っている。

| 3 | 汎用的な技能

学術研究の進展や社会構造の変化に対応できる能力を持っている。

直面する多くの問題を解決し、研究を広く展開していくことができる。

プレゼンテーションおよび討論する能力を持っている。

国際化の進む医薬品産業の中で活躍できる国際的競争力を持っている。

| 4 | 態度・志向性

主体的に研究を遂行できる積極的な研究能力を持っている。

企画力や交渉力を持った次世代リーダーの素養を持っている。

創薬研究者としての倫理感と科学的思考能力を持っている。

2. 教育課程の編成・実施について基本方針【カリキュラム・ポリシー】

生命科学の進歩とこれを基盤とする創薬科学に関する研究の発展を踏まえ、学際的志向を持ちながら、最先端の研究成果を教育活動に積極的に導入する。研究指導は各学生の理解に合わせた教育方針で行う。

高い研究能力を養成するため、複数指導教員の指導のもと独自のテーマについて研究し、科学的思考力に基づく研究遂行能力と問題解決能力を育成する。また各種先端的研究プロジェクトに参加し、研究成果を発表することを奨励し、将来独立した研究者として必要な種々の能力を磨き上げる。さらに海外から招聘した教員からの指導も受け、国際的に活躍で

きる研究者を育成する。

【カリキュラムの基本構造】

多様な研究分野が存在する薬学の特質を生かし、専攻分野間の交流を積極的に進めるカリキュラムを構築している。

カリキュラムの特徴は以下のとおりである。

基礎的・基盤的教育を実施することに加え、先端研究に参画させることで、先端研究への円滑な導入と先端的研究能力を育成する。

研究領域単位でのアドバンスト科目や最先端研究に関わる科目を学ぶことにより、創薬科学の幅広い領域について教育を受けることができる。

専門的かつ広範な視点からの研究教育を行うために、専攻分野を超えた複数の教員による指導体制を実施する。

英語による講義や演習を受講することにより、英語でのコミュニケーション能力の向上を図る。また、英語による講義や演習により、留学生に対しても高度で先端的な教育を行うことができる。

3. 入学者受け入れの方針【アドミッション・ポリシー】

| 1 | 求める学生像（知識、能力、適性等）

創薬科学専攻（修士課程）では、人の健康維持に薬学から貢献できる人材の育成を目的としている。このため、以下の資質を持つ学生の入学を期待する。

医薬品の創製にかかわる生命科学、生体情報科学および医薬品化学の基礎的研究を推進できる研究者や教育者にふさわしい知識や能力を持った学生の入学を期待する。

学部で取得した知識・技能・態度を活用できる素地を持った学生の入学を期待する。薬学の使命を達成する情熱を有し、また論理的に問題を解決する思考力を持った学生の入学を期待する。

国際的に活躍できる人材となるために必要な英語の基礎学力を持っている学生の入学を期待する。

| 2 | 入学者選抜の基本方針（入学要件、選抜方式、選抜基準等）

【入試（一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜）】

創薬にかかわる研究を修得するために必要な専門知識および国際化に対応できる英語能力を持つ学生を選抜する。受験資格として基本的に小学校から大学までの16年の修学期間が必要とされる。その要件を満たさない場合は事前審査が必要で、審査により出願が認められる場合もある。一般選抜では学力を評価し、社会人特別選抜および外国人留学生特別選抜では、学力に加え創薬研究に関する知識などについて面接し総合的に選抜する。